

古代米酒 ～おもわく姫～

多賀城市では1996年10月開催された「全国万葉フェスティバル96 in多賀城」での古代食提供のために、古代米（紫黒米）の栽培が決まり、これを契機に、市観光協会が新しい特産品として古代米酒の企画・開発に取り組んだ。



多賀城酒販協議会や白石市にある酒造元「蔵王酒造株式会社」の協力のもと、1998年12月から「おもわく伝説」を発売、2010年より「おもわく姫」と名前を変えて販売している。

名前の由来は、平安後期の前九年の役で知られる豪族の安倍貞任が若い頃「おもわく」という名の美しい娘を見初め、川に橋を架けたたびに通ったという市内にある「おもわくの橋」伝説に由来する。



商品は品質改良を重ね、従来の低アルコールの特殊醸造による甘味や酸味を引き出したワイン風味を生かし、アルコール度数は8～9度に抑え、さらに甘味や酸味を増やしたコクのある味に醸造されている。是非、ご賞味いただきたい。「おもわく姫」販売取扱店は、ホームページ「多賀城 おもわく姫」に掲載されている。